

【18】 暦にまつわる面白い話

以前、業界新聞の記事で知った暦に関する面白い話題があり、その後あまり知られていないようなので、孫引きで紹介します。

それは、”4月4日、6月6日、8月8日、10月10日、12月12日の、2月以外の偶数月で月数と同じ日の曜日は、年ごとに全て同じである”というものです。

本年 2024 年では、その全ての日が木曜日です。
へエーッと驚きませんか？

年ごとの違いで云うと、来年 2025 年はすべてが金曜日、再来年の 2026 年は土曜日、2027 年は日曜日ということで、年ごとに曜日が1つずつ進んでいきます。

さて、曜日が同じになる理由を考えてみましょう。

数えてみますと、4月4日から63日目が6月6日、それから63日目が8月8日と、次の63日目が10月10日、その次の63日目が12月12日とすべて63日ピッチです。63日という数字は1週7日の9回分ですから、ある日から63日目という日の曜日は、そのある日と同じになります。

2月2日が上の法則に当てはまらないのは、2月は月の日数が28日か29日で30日に不足し、2月2日から4月4日までが62日か61日となり、63日に不足するからです。

次に、1年ごとに曜日が1日ずつ進むわけは、1年365日を7で割ると商として52週を得て1日余るからです。

ある年の4月4日が木曜日なら翌年の4月4日は曜日が1日分進んで金曜日ということになります。

但し、この議論はうるう年を考慮していないので、うるう年が入ると規則性が乱れます。

実際、今年2024年はうるう年なので2024年4月4日は木曜日なのに前年2023年4月4日は水曜日ではなく火曜日でした。

以上、お楽しみ頂けましたでしょうか？